

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	3民生費	課・係名			
基本目標		子育てと教育の村づくり	施策	健やか子育て支援の村づくりの推進	項	2児童福祉費	子育て支援課			
					目	1児童福祉総務費	子育て支援係			
事業通番	事業名	お誕生記念品事業			予算額			決算額		
132103					当初予算額	増減額	予算現額			
事業目的	安心、安全な出産・子育て環境の整備や子育て中の経済的負担感の軽減などを目的に、子の出生や成長を祝い記念品や祝金を支給する。 ・お誕生記念品事業 ・小学校入学祝金事業 ・多子出産祝金事業 ・出産・子育て応援ギフト	事業費			5,110	230	5,340	事業費	5,322	
			財源内訳	国庫支出金	0	1,066	1,066	財源内訳	国庫支出金	1,066
				県支出金	0	266	266		県支出金	266
				地方債	0	0	0		地方債	0
				その他	3,500	0	3,500		その他	3,500
				一般財源	1,610	▲ 1,102	508		一般財源	490
事業の内容及び成果・今後の課題										
■ 事業内容及び成果										
内容		事業費(円)	内容・成果			今後の課題				
お誕生記念品事業		122,181	出生とともに村に住民登録を行った新生児1人に対し1万円分の村商工会商品券もしくは1万円相当の品物を贈呈。5種から選択。 ・記念品代…120,000円(12人) ・その他消耗品…2,181円			全ての品について希望する者があった。				
小学校等入学祝金事業		3,600,000	村に住む小学校へ入学した児童を養育する保護者へ、児童1人あたり100千円を支給。 ・対象児童：36人…3,600,000円							
多子出産祝金事業		0	第3子以降の新生児が生まれた世帯(保護者)へ、新生児1人あたり200千円を支給する。R4年度は対象児童なし。			R4出生の第3子がR5から順次要件取得(6か月在住)していく。もれなく案内を行う。				
出産・子育て応援ギフト給付事業		1,600,000	国が実施する、妊娠期から出産後の子育てまでを切れ目なく、必要な支援を行っていくための新規事業。伴走型相談支援(定期的な面談・アンケート・必要に応じた相談支援)を保健師を中心として民生課健康福祉係が担当し、経済的支援(妊娠期、子育て期の開始時期にそれぞれ対象1人あたり50千円の支給)を子育て支援課子育て支援係が担当する。 ・出産応援ギフト：900,000円 ・子育て応援ギフト：700,000円			・全国一律事業。重複支給を防ぐため、転入・転出者に対して、前住所地、新住所地との連携が必要。 ・伴走型相談支援担当課との密な連携が必要。 ・支給内容(現金・電子クーポン等)については現金を継続する。一方で、県が広域連携を実施するか動向を注視し、状況によっては受給者にとってより良い形で支給できるよう検討も必要。				
合計		5,322,181								

■課題及び今後の取組

・少子化対策に係る事業として、継続して進めていく。

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み	単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	お誕生記念品の贈呈（児童数）	人	20	12	60%	B	様々な角度から、子育て世帯への経済的支援を行った。国の継続事業である出産・子育て応援ギフトは、伴走型の相談支援も重要であり、健康福祉係と連携を密に対応していく必要がある。
	小学校入学祝金の支給（児童数）	人	36	36	100%		
	多子出産祝金の支給（児童数）	人	6	0	0%		

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	C	ニーズの調査や効果検証 対象者の評価も検証も必要
公平性	B			
有効性	C			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画		款	3民生費	課・係名				
基本目標		子育てと教育の村づくり	施策	健やか子育て支援の村づくりの推進		項	2児童福祉費	子育て支援課		
				目	1児童福祉総務費		子育て支援係			
事業通番	事業名	家庭児童相談事業			予算額			決算額		
132105					当初予算額	増減額	予算現額			
	事業目的	・児童相談の充実 ・家庭の日の普及（毎月第3日曜日を「家庭の日」と制定する）			事業費	1,430	1	1,431	事業費	645
		財源内訳	国庫支出金	0	0	0	財源内訳	国庫支出金	0	
			県支出金	0	0	0		県支出金	0	
			地方債	0	0	0		地方債	0	
			その他	0	0	0		その他	0	
			一般財源	1,430	1	1,431		一般財源	645	
事業の内容及び成果・今後の課題										
<p>■事業内容及び成果（4月1日～9月30日までの実績）</p> <p>【相談業務 対象園児・児童・生徒数】</p> <p>・保育園：3人 ・小学校：5人 ・中学校：4人 ・特別支援学校：4人 ・卒業生2人 計18人</p> <p>【相談業務 回数】相談は対象児童の保護者</p> <p>・保育園：6回 ・小学校：9回 ・中学校：9回 ・特別支援学校：9回</p> <p>・卒業生：2回 ・児童相談所定期相談：4回 計39回</p> <p>【定期相談・支援会議等】</p> <p>・就学相談委員会（全体会議年2回、調査委員会2回）該当人数：5人</p> <p>・来入児健康診断の実施</p> <p>・ケース進行会議（年3回）該当人数：37人</p> <p>・保小中定期訪問（各年3回）該当人数：保育園13人 小学校5人 中学校5人</p> <p>・子育て世代包括支援センターケース会議（4回）</p> <p>・子育て家庭総合支援拠点会議（4回）</p>										

・家庭児童相談員報酬等：644,766円

■課題及び今後の取組

- ・保小中学校の保護者からの相談依頼に継続して携わり支援を行った。
- ・個の特性に応じた「学びの環境」の確保に向け、関係機関と連携するケースが増えてきている。
- ・1人に対する継続相談回数は増加傾向にある。
- ・子育て世代包括支援センターと子育て家庭総合支援拠点が法制化され、相談有無に関わらず全体的に見守り対象が増えている（0～18歳）

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					担当評価	評価の根拠・説明・考察
	保小中訪問相談	9回	回	9	9	A	家庭児童相談員は、多様な相談に対応するため研修等へ参加するほか、養護学校や専門機関とも連携し、相談者を支援している。対象者は年々増えており、今後も継続していく必要がある。 家庭の日の関係では、家庭・家族をテーマにフォトコンテストを実施した。
	ケース進行会議	3回	回	3	3		
	「家庭の日」	毎月第3日曜日を家庭の日に制定	回	1	1		

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	フォトコンテストは目的を達成したか疑問
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画		款	3民生費	課・係名			
基本目標		子育てと教育の村づくり	施策	健やか子育て支援の村づくりの推進		項	2児童福祉費	子育て支援課	
				目	1児童福祉総務費	子育て支援係			
事業通番	事業名	子育て支援室運営事業		予算額			決算額		
132107				当初予算額	増減額	予算現額			
	事業目的	子育て家庭等に対する育児不安等についての相談指導や子育て家庭に対する育児支援を行うことを目的として保育園内に子育て支援室を開設する。 また、利用者支援事業としての役割を持ち、子育て世代包括支援センターと連携して利用者がニーズに合った支援を円滑に利用できるよう、必要な支援を行う。		事業費	1,529	0	1,529	事業費	1,418
				財源内訳			財源内訳		
				国庫支出金	1,000	19	1,019	国庫支出金	1,019
				県支出金	250	0	250	県支出金	233
				地方債	0	0	0	地方債	0
				その他	0	0	0	その他	0
				一般財源	279	▲ 19	260	一般財源	166
事業の内容及び成果・今後の課題									
■ 事業内容及び成果									
	内容	事業費(円)	内容・成果			今後の課題			
	子育て支援室運営事業	1,352,114	<ul style="list-style-type: none"> 開室日数237日（おひさま広場195日、おひさま教室42日） 延利用組数685組 コーディネーター報酬、共済費等…1,183,152円 材料費…112,930円 講師謝金…32,272円 保菌検査料…23,760円 赤ちゃん同窓会3回 			<ul style="list-style-type: none"> 保護者が興味を持って参加できる講座の開催 新規の利用者への広報周知 			
	地域家庭子育て塾	66,000	小学生対象の子どもの運動教室（4回）講師謝金…66,000千円			保育園保護者等、なかなか体験や学習機会の少ない対象者への子育て講座の開催			
	合計	1,418,114							

・保健師が行う赤ちゃん同窓会を、会場を支援室としてコーディネーターも連携して実施。支援室利用のきっかけにもなっている。

■課題及び今後の取組

- ・利用者の減少。少子化の影響もある一方で、利用したことのない家庭も多い。若い世帯や転入世帯が孤にならず、気軽に足を運び話し相手や相談相手とつながる場となるような取組みの工夫が必要。
- ・支援室は保護者にとっての居場所としてのニーズが高まっている。必要に応じて、更に踏み込んだ利用者支援も行っていく。
- ・就園後から保護者の学習機会は少なくなる。地域家庭子育て塾として対象を広げた様々な講演会や講座の開催し、引き続き保護者や家庭への支援につなげていく必要がある。

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	子育て支援室利用組数 800組					組	800	775	97%	B	子育て支援室は保護者にとってリフレッシュや情報交換、相談の場となっており、継続して利用する保護者の姿がある。一方で、未利用者も多い。若い世帯・転入世帯などが気軽に足を運び、交流する場となるよう工夫しながら継続して実施していく必要があると思われる。
	地域・家庭子育て塾 8回					回	8	4	50%		
									#DIV/0!		

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	3 民生費	課・係名																																							
基本目標		子育てと教育の村づくり	施策	幼児教育の推進	項	2 児童福祉費	子育て支援課																																							
					目	2 保育所費	子育て支援係																																							
事業通番	事業名	保育所管理運営事業			予算額																																									
132202					当初予算額	増減額	予算現額																																							
	事業目的	家庭での保育に欠ける児童の保育を行う。子どもたちの発達に合わせて幼児教育や、やまほいくの要素を取り込んで保育にあたっている。			事業費	61,261	8,551	70,093	事業費	60,384																																				
			財源内訳	国庫支出金	125	0	125	財源内訳	国庫支出金	127																																				
				県支出金	1,260	516	1,776		県支出金	1,680																																				
				地方債	0	0	0		地方債	0																																				
				その他	8,759	▲ 200	8,559		その他	11,379																																				
				一般財源	51,117	8,516	64,633		一般財源	47,198																																				
事業の内容及び成果・今後の課題																																														
<p>■事業内容及び成果</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行の緩和により、外部講師を招く行事や研修について、現地で行なうことができた。園児数については令和3年度末入所園児数が108人に対し、令和4年度末は124人と増加傾向がみられた。</p> <p>○保育所管理運営費</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>報酬</td> <td>20,819,294円</td> <td>旅費</td> <td>0円</td> <td>工事請負費</td> <td>145,000円</td> </tr> <tr> <td>給料</td> <td>8,067,161円</td> <td>需用費</td> <td>20,487,659円</td> <td>備品購入費</td> <td>625,935円</td> </tr> <tr> <td>職員手当</td> <td>1,875,004円</td> <td>役務費</td> <td>481,493円</td> <td>負担金</td> <td>2,754,956円</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>2,718,850円</td> <td>委託料</td> <td>1,347,108円</td> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td>126,596円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>168,912円</td> <td>使用料及び賃借料</td> <td>766,284円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td style="text-align: right;">計 60,384,252円</td> </tr> </table> <p>■課題及び今後の取組</p> <p>やまほいくの推進、保育士研修の充実。</p>											報酬	20,819,294円	旅費	0円	工事請負費	145,000円	給料	8,067,161円	需用費	20,487,659円	備品購入費	625,935円	職員手当	1,875,004円	役務費	481,493円	負担金	2,754,956円	共済費	2,718,850円	委託料	1,347,108円	補償、補填及び賠償金	126,596円	報償費	168,912円	使用料及び賃借料	766,284円								計 60,384,252円
報酬	20,819,294円	旅費	0円	工事請負費	145,000円																																									
給料	8,067,161円	需用費	20,487,659円	備品購入費	625,935円																																									
職員手当	1,875,004円	役務費	481,493円	負担金	2,754,956円																																									
共済費	2,718,850円	委託料	1,347,108円	補償、補填及び賠償金	126,596円																																									
報償費	168,912円	使用料及び賃借料	766,284円																																											
					計 60,384,252円																																									

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察	
		園主催の外部講師による保育士研修会回数					回	2	5	250%	A	例年実施している保育学びの会に加え、運動・やまほいく・緊急時に使用する設備・不審者対応などの研修を行った。園児数については昨年度末と比較して増加傾向がみられた。
		避難訓練回数					回	12	12	100%		
		年度末園児数					人	108	124	115%		

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画				款	3 民生費	課・係名														
基本目標		子育てと教育の村づくり	施策	幼児教育の推進	項	2 児童福祉費	子育て支援課															
					目	2 保育所費	子育て支援係															
事業通番 132203	事業名	特別保育事業			予算額			決算額														
	事業目的	【延長保育】 保護者の就労ニーズ等に合わせ、保育所の開所時間の前後に時間外保育（延長保育）を行う。 【緊急保育】 保護者の疾病、就労、冠婚葬祭等で家庭保育が困難な保育所に入所していない乳幼児を一時的に保育する。	事業費	2,986	増減額	126	予算現額	3,112	事業費	1,600												
			財源内訳	国庫支出金	0	0	0	財源内訳	国庫支出金	0												
				県支出金	0	0	0		県支出金	0												
				地方債	0	0	0		地方債	0												
				その他	275	0	275		その他	497												
				一般財源	2,711	126	2,837		一般財源	1,103												
事業の内容及び成果・今後の課題																						
<p>■ 事業内容及び成果</p> <p>延長保育：保育短時間認定…朝は7時30分から8時30分まで、夕方は16時30分から19時まで（土曜日も同様）実施した。 保育標準時間認定…夕方の18時30分から19時まで（土曜日も同様）実施した。 延長保育士（パート）2名と職員が早番・遅番の交代勤務で延長保育にあたった。 緊急保育：1事由につき月12日までの利用が可能。</p> <table border="1"> <tr> <td>会計年度職員賃金手当</td> <td>1,576,748円</td> <td>緊急保育保険料</td> <td>3,000円</td> <td>計</td> <td>1,599,948円</td> </tr> <tr> <td>賞還金、利子及び割引料</td> <td>20,200円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>■ 課題及び今後の取組</p> <p>3歳未満児の利用者増加等で保育士不足が見込まれる。</p>											会計年度職員賃金手当	1,576,748円	緊急保育保険料	3,000円	計	1,599,948円	賞還金、利子及び割引料	20,200円				
会計年度職員賃金手当	1,576,748円	緊急保育保険料	3,000円	計	1,599,948円																	
賞還金、利子及び割引料	20,200円																					
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察													
	延長保育利用園児数（実人数・月単位）			人	15	18	120%	A	第2期末木島平村子ども・子育て支援事業計画の数字の見込みを目標とした。緊急保育を利用する人数は昨年から変動はなし。延長保育については、例年同様利用者が多く延長保育で勤務できる保育士の確保が必要になっていくことが想定される。													
	病後児保育利用園児数（実人数）			人	5	1	20%															
	緊急保育利用子ども数（実人数）			人	40	5	13%															
評価委員評価																						
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B																			
公平性	B																					
有効性	B																					
効率性	B																					

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

事業通番 132205	第6次総合振興計画				款	3 民生費	課・係名																						
	基本目標	子育てと教育の村づくり	施策	総合的な子育て支援の推進	項	2 児童福祉費	子育て支援課																						
					目	2 保育所費	子育て支援係																						
事業名	発達支援事業			予算額			決算額																						
事業目的	発達障がい傾向が見られる児童に保育士を加配し、安定した園生活を送れるよう支援する。 発達支援についての保育士研修を実施し、共通の理解と支援を行なうことで児童の自立をうながし、小学校へつなげていく。			事業費	11,494	▲ 1,452	9,478	事業費	7,416																				
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	財源内訳	国庫支出金	0																			
		県支出金	0	0	0	0	0	財源内訳	県支出金	0																			
		地方債	0	0	0	0	0	財源内訳	地方債	0																			
		その他	5,000	0	5,000	5,000	5,000	財源内訳	その他	5,000																			
		一般財源	6,494	▲ 1,452	4,478	4,478	4,478	財源内訳	一般財源	2,416																			
事業の内容及び成果・今後の課題																													
<p>■ 事業内容及び成果</p> <p>発達障害の傾向が見られる児童に保育士を加配。 北信圏域障害者支援センター等が年3回保育園を訪問し、子どもの姿の観察や保育士の支援方法等について、助言・指導を行った。 対象児童 3名 加配保育士3名（会計年度フルタイム職員1名、会計年度パートタイム職員2名）</p> <table border="1"> <tr> <td>報酬</td> <td>3,522,884円</td> <td>職員手当等</td> <td>489,586円</td> <td>報償費</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>給料</td> <td>2,475,600円</td> <td>共済費</td> <td>811,991円</td> <td>委託料</td> <td>116,407円</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>計</td> <td>7,416,468円</td> </tr> </table> <p>■ 課題及び今後の取組</p> <p>今後、支援が必要な児童が増えた場合、保育士が不足する可能性がある。また、様々なケースがあり、保育士の研修がより必要となる。</p>											報酬	3,522,884円	職員手当等	489,586円	報償費	0円	給料	2,475,600円	共済費	811,991円	委託料	116,407円						計	7,416,468円
報酬	3,522,884円	職員手当等	489,586円	報償費	0円																								
給料	2,475,600円	共済費	811,991円	委託料	116,407円																								
					計	7,416,468円																							
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察																				
	発達支援対象園児に対する保育士のカバー率（対象園児数/職員数）			人	3	3	100%	B	支援が必要な園児に対して『1:1』で加配保育士を配置できている。また、計画訪問を通して必要な支援について把握し保育できている。また、保育士に対する発達支援に関する研修については目標回数に達しなかったが実施し、理解を深めている。																				
	北信圏域障害者支援センターによる計画訪問回数			回	4	4	100%																						
	発達支援に関する研修			回	2	1	50%																						
評価委員評価																													
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	支援が必要な児童への保育士の加配は引き続き必要と考える。																									
公平性	B																												
有効性	B																												
効率性	B																												

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款	3 民生費	課・係名			
基本目標		計画に記載なし	施策		項	2 児童福祉費	子育て支援課			
					目	8 児童クラブ運営費	子育て支援係			
事業通番	事業名	児童クラブ運営事業			予算額			決算額		
132801				当初予算額	増減額	予算現額				
	事業目的	放課後等児童の安全・安心な活動拠点として設置し、子どもの居場所を確保する。			事業費	7,248	291	7,539	事業費	6,344
			財源内訳	国庫支出金	1,614	0	1,614	財源内訳	国庫支出金	1,603
				県支出金	1,682	156	1,838		県支出金	1,264
				地方債	0	0	0		地方債	0
				その他	1,471	0	1,471		その他	1,299
				一般財源	2,481	135	2,616		一般財源	2,178
事業の内容及び成果・今後の課題										
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の経済的負担軽減のため、利用料の減額を実施。 月上限5,000円を3,500円に減額。一日あたりの単価に変更はなし。 年間運営日数：254日、登録児童数：70人、年間延べ利用児童数：5,231人、平均利用人数：21人/日、長期休み平均利用人数：23人/日 スタッフ：室長1人、学習指導員1人、補助員：2人…会計年度任用職員報酬等：6,105,949円 定員50人。一日の利用人数は最大35人、長期休み中最大35人で定員内ではあるが、新型コロナ対策として状況に応じて理科室やランチルームを利用し、2室に分けて対応した。引き続き、保護者の送迎は外で対応するようにした。 長期休み中のおやつについて、自宅から持参したものを食べる形を継続とした。 運営委員会（年3回）の実施…報償費：36,000円 事務用消耗品、役務費（電話料）、スポーツ保険料（村負担分）：141,983円 備品修繕費…60,000円 感染症対策として布張りの椅子座面をビニール素材に張替えを行った。 <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> おやつについては今後も実施する中で児童や家庭の様子に合わせて必要に応じて検討をしていく。 小学校とも連携し、安心安全に過ごせる放課後の居場所として、引き続き実施していく。 										

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	児童クラブの運営 開所日数290日					日	290	254	88%	B	土曜日の利用希望が減少傾向であるため、土曜を含めた目標に対する実績は減。 感染症対策を徹底し、クラブ内で大きく広がることなく必要な児童に継続して居場所を提供することができた。 今後も一人ひとりに丁寧に向き合いながら開室を継続することが必要であると思われる。
									#DIV/0!		
									#DIV/0!		
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	子育て支援のために、利用希望があれば土曜日開所は引き続き必要と考える。							
公平性	B										
有効性	B										
効率性	B										

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画				款	9 教育費	課・係名		
基本目標		計画に記載なし		施策		項	1 教育総務費	子育て支援課		
						目	1 教育委員会費	子育て支援係		
事業通番	事業名					予算額			決算額	
191105	スクールカウンセラー設置事業					当初予算額	増減額	予算現額		
		発達相談体制の充実のため、スクールソーシャルワーカーの導入を図る。		事業費	336	0	336	事業費	318	
		財源内訳	国庫支出金			0		財源内訳	国庫支出金	
			県支出金			0			県支出金	
			地方債			0			地方債	
			その他			0			その他	
			一般財源		336		0		336	一般財源
事業の内容及び成果・今後の課題										
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談及び研修業務委託料（中学3年生に対する全員面談及び心の健康授業、教職員面談：7日／年他）・・・318,000円 <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校における相談業務の実施及び就学相談委員会等との連携強化 										
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察	
	小中学校の授業観察			校	2	1	50%	A	日常生活での悩みやいじめ、家庭内虐待など、児童生徒が抱える様々な問題を解決ため、事業を継続する必要がある。	
	児童生徒の面談			人	320	104	33%			
							#DIV/0!			
評価委員評価										
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B							
公平性	B									
有効性	B									
効率性	B									

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款 9 教育費		課・係名				
基本目標		子育てと教育の村づくり	施策	木島平型教育の推進		項 1 教育総務費		子育て支援課			
						目 1 教育委員会費		子育て支援係			
事業通番	事業名	木島平型教育づくり事業			予算額			決算額			
					当初予算額	増減額	予算現額				
191106	木島平型教育づくりをめざす。 体験学習、授業改善等を取り入れ、保小中一貫教育の推進により木島平の未来を受け継ぐ児童・生徒の生きる力、伸びる力を育む。	事業費		5,316	269	5,585	事業費		3,860		
		財源内訳	国庫支出金			0		財源内訳	国庫支出金		
			県支出金			0			県支出金		
			地方債		2,200	▲ 100	2,100		地方債		2,000
			その他		1,500	0	1,500		その他		1,500
			一般財源		1,616	369	1,985		一般財源		360
事業の内容及び成果・今後の課題											
内容		事業費(円)	内容・成果			今後の課題					
自主公開学習検討会等		769,860	外部講師による保小中一貫教育の推進を図った。 保育学びの会2回、自主公開学習検討会：小学校3回、中学校3回 謝金703,860円 宿泊料66,000円			自主公開授業の継続 木島平型教育を目指し、教職員の授業力向上を図る					
小学5年生八丈島海の学習		2,730,796	八丈島で「宿泊体験学習」を行い、八丈島の児童と交流を深める。 実施日：7月20日～22日【2泊3日】 参加者：小学5年生37人、教員5人、職員2人 内容等：八丈島の見学、体験活動、学校交流他 旅費2,203,620円、バス借上料他527,176円			八丈島海の学習事業を通常の日程に戻す					
小学4年生宿泊体験学習		0	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。 令和5年度以降は実施しない。			学校運営協議会で運営していたが、新型コロナの影響により3年間中止となり、保護者からの要望もなくなったため、各家庭で対応していただく。					
広島平和学習		11,168	新型コロナウイルス感染症拡大により広島平和学習中止。 キャンセル料他11,168円			平和学習事業の継続、内容を見直す					

教員教育力向上及び児童生徒学力向上助成他	67,500	保小連携に係る活動経費に対する補助金及び児童生徒の検定等受験費用の一部を補助した。	保小中における連携の強化 児童生徒のチャレンジ精神を育むため継続して助成
教育相談	280,413	教育相談員を1人配置し、保育園や小中学校と連携しながら子どもたちに関わる助言や指導を行った。	教育相談員に係る人件費の確保
合計	3,859,737		

指標	目的達成に向けた具体的な取り組み					担当評価	評価の根拠・説明・考察
	単位	目標	実績	達成度			
	自主公開授業（小中学校）の実施	回	6	6	100%		
	保育学びの会（保育園）の実施	回	2	2	100%		
八丈島海の学習（小学校）の実施	回	1	1	100%			
評価委員評価							
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	木島平型教育を内外に発信するためにも、事業の充実を願いたい。			
公平性	B						
有効性	B						
効率性	B						

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画				款	9 教育費	課・係名		
基本目標		計画に記載なし		施策		項	1 教育総務費	子育て支援課		
						目	1 教育委員会費	子育て支援係		
事業通番	事業名					予算額			決算額	
191107	ルクセンブルク交流事業					当初予算額	増減額	予算現額		
		事業費		1,224	0	1,224	事業費		1,052	
		財源内訳	国庫支出金		0		財源内訳	国庫支出金		
			県支出金		0			県支出金		
			地方債		0			地方債		
			その他		0			その他		
			一般財源	1,224	0	1,224		一般財源	1,052	
事業の内容及び成果・今後の課題										
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディーキルシュ校からの受け入れ（生徒10人、職員3人）・・・1,052,405円 <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の感染状況に注視して、ディーキルシュ校と連絡調整しながら事業の再開を図る 										
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察	
	ディーキルシュ校の生徒・先生の受け入れ			式	1	1	100%			
							#DIV/0!			
							#DIV/0!			
評価委員評価										
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B							
公平性	B									
有効性	B									
効率性	B									

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画				款 9 教育費		課・係名		
基本目標		計画に記載なし		施策		項 1 教育総務費		子育て支援課		
						目 1 教育委員会費		子育て支援係		
事業通番	事業名	放課後子ども教室推進事業				予算額			決算額	
191108		放課後に学習教室を開設し児童の学力向上を図る。				当初予算額	増減額	予算現額		
		事業費		1,270	▲ 28	1,242	事業費		898	
		財源内訳	国庫支出金		0		財源内訳	国庫支出金		
			県支出金	68	▲ 28	40		県支出金	40	
			地方債		0			地方債		
			その他	201	0	201		その他	112	
			一般財源	1,001	0	1,001		一般財源	746	
事業の内容及び成果・今後の課題										
<p>■ 事業内容及び成果</p> <p>学習教室の実施（英語教室延べ544人、算数教室延べ142人、おもしろ科学・工作延べ49人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター1人、学習アドバイザー1人、他謝金・・・854,400円 ・その他（消耗品、電話料、傷害保険料）・・・43,117円 <p>■ 課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度からアドバンスタイム（対象：4年生～6年生、毎週月曜日の6時間目、タブレットPCによる学習）に変更 										
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察	
	英語教室の実施			回	50	47	94%	C	4年生から6年生の全員が参加できるよう、ふり返り学習を行うアドバンスタイムに変更した。	
	算数教室の実施			回	30	28	93%			
	おもしろ科学工作の実施			回	6	4	67%			
評価委員評価										
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B							
公平性	B									
有効性	B									
効率性	B									

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

事業通番 191109	第6次総合振興計画			款 9 教育費		課・係名			
	基本目標 子育てと教育の村づくり		施策 木島平型教育の推進	項 1 教育総務費		子育て支援課			
				目 1 教育委員会費		子育て支援係			
事業名	コミュニティ・スクール推進事業			予算額			決算額		
	小中学校をコミュニティ・スクールとして運営する。			当初予算額	増減額	予算現額			
				事業費	1,195	1	1,196		
				財源内訳			財源内訳		
				国庫支出金		0	国庫支出金		
				県支出金		0	県支出金		
				地方債		0	地方債		
				その他		0	その他		
				一般財源	1,195	1	1,196		
							事業費 402		
							国庫支出金		
							県支出金		
							地方債		
							その他		
							一般財源 402		
事業の内容及び成果・今後の課題									
<p>■事業内容及び成果</p> <p>学校運営協議会5回、CS推進委員会10回、CS研修会中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CSコーディネーター1人の報酬及び共済費・・・281,817円 ・コミュニティ・スクール研修会講師謝金・・・コロナの影響により中止 ・学校運営協議会委員報酬・・・117,000円 ・その他（消耗品）・・・3,680円 <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校の連携及び協働の強化（地域連携コーディネーター配置） 令和5年度から事務局を生涯学習課に移管。 									
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察 協議会・委員会やオンラインによる研修会の開催など概ね目標を達成した。地域とともにある学校づくりと地域コミュニティの推進を図るため、継続が必要である。
	学校運営協議会の開催			回	5	5	100%	B	
	CS推進委員会の開催			回	10	10	100%		
	コミュニティ・スクール研修会の開催			回	1	0	0%		
評価委員評価									
公共性	B	総合評価 (妥当性)	C	一過性のイベントとなっており、事業効果が見えにくい。 目的と期待する効果を再検討されたい。					
公平性	B								
有効性	C								
効率性	B								

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

事業通番 191203	基本目標	計画に記載なし	施策	第6次総合振興計画			款 9 教育費	課・係名		
	事業名	児童生徒スキー振興事業					項 1 教育総務費	子育て支援課		
							目 2 事務局費	子育て支援係		
				予算額			決算額			
				当初予算額	増減額	予算現額				
		中学校スキー部活動支援の目的でワゴン車2台を配置する。	事業費	864	0	864	事業費	478		
			財源内訳	国庫支出金		0	財源内訳	国庫支出金		
				県支出金		0		県支出金		
				地方債		0		地方債		
				その他	200	0		200	その他	478
				一般財源	664	0		664	一般財源	0
事業の内容及び成果・今後の課題										
<p>■事業内容及び成果</p> <p>ハイエース1台（スキー部クロス班及びジュニアジャンプクラブで使用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイエースリース料・・・356,510円 ・ハイエースの維持管理費（消耗品、燃料費、自動車共済他）・・・121,952円 <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイエース1台処分し、リース車1台で実施。 										
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察	
	車両（ハイエース）の維持管理			台	2	2	100%	B		
							#DIV/0!			
							#DIV/0!			
評価委員評価										
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B							
公平性	B									
有効性	B									
効率性	B									

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

事業通番 41362	第6次総合振興計画		款 9 教育費		課・係名				
	基本目標	計画に記載なし	施策	項 2 小学校費	子育て支援課				
				目 1 小学校管理費	子育て支援係				
事業名	GIGAスクール構想事業・小学校管理費		予算額			決算額			
			当初予算額	増減額	予算現額				
	児童生徒一人一台端末の活用を図るGIGAスクール構想の実現に向けて、ICT環境の整備やスクールサポーターによる授業支援を行う。	事業費	3,105	172	3,277	事業費	3,068		
		財源内訳	国庫支出金	2,549	391	2,940	財源内訳	国庫支出金	2,940
			県支出金		0			県支出金	
			地方債		0			地方債	
			その他		0			その他	
		一般財源	556	▲ 219	337	一般財源	128		
事業の内容及び成果・今後の課題									
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット用消耗品（タッチペン、保護ケース、家庭用電源アダプターの購入）・・・15,950円 ・児童用デジタル教科書の購入（全学年：国語、算数、社会、家庭、英語、音楽）・・・1,173,192円 ・フィルタリングソフト設定業務委託・・・387,200円 ・スクールサポーター配置業務委託・・・1,386,000円 ・ソフトウェア使用料（スカイメニュークラウド20ライセンス）・・・105,600円 <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の更新及びオンライン環境の拡充 									
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み		単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察 国のGIGAスクール構想の実現に向けて教育ICT環境の充実を図り、多様な児童生徒のニーズや状況に応じた教育の充実を図る必要がある。	
	ICT機器を活用した授業の実施		学年	6	6	100%	A		
	スクールサポーターの配置		人	1	1	100%			
						#DIV/0!			
評価委員評価									
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	1人1台の端末を使いこなせているならば、有効な事業と考える					
公平性	B								
有効性	B								
効率性	B								

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款 9 教育費		課・係名				
基本目標		計画に記載なし	施策		項 2 小学校費		子育て支援課				
					目 1 小学校管理費		子育て支援係				
事業通番	事業名	小学校教育振興費			予算額			決算額			
192201					当初予算額	増減額	予算現額				
		児童指導用教材の充実 教科用消耗品・備品類の購入 図書館環境の充実			事業費	5,515	0	5,515	事業費	5,461	
					財源内訳	国庫支出金		0	財源内訳	国庫支出金	
						県支出金		0		県支出金	
						地方債		0		地方債	
						その他		0		その他	
						一般財源	5,515	0		5,515	一般財源
事業の内容及び成果・今後の課題											
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童図書購入、学校活動用消耗品他・・・1,435,834円 ・特別支援教育教材費他・・・97,148円 ・学力検査（国語、算数）及び知能検査（2・4・6年）委託料・・・327,720円 ・タブレットPC（60台）リース料・・・3,133,320円 ・教材用備品購入費・・・346,598円 ・その他教育振興に係る経費・・・119,800円 <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童図書及び教材等の更新継続 											
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察		
	教材及び児童図書の整備			式	1	1	100%	A	学校図書館法の規定に基づき、児童生徒の図書活動や読書活動の充実のため、今後も継続して図書の充実を図る必要がある。		
	タブレットPCのリース			台	60	60	100%				
							#DIV/0!				
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B								
公平性	B										
有効性	B										
効率性	B										

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

事業通番 192202	基本目標		第6次総合振興計画			款	9 教育費	課・係名	
	計画に記載なし		施策			項	2 小学校費	子育て支援課	
						目	1 小学校管理費	子育て支援係	
事業名	小学校教科充実活動費		予算額			決算額			
	総合的な学習をすることで、児童の健全育成を図る。		事業費	1,266	0	1,266	事業費	1,188	
			財源内訳	国庫支出金		0	財源内訳	国庫支出金	
				県支出金		0		県支出金	
				地方債		0		地方債	
				その他		0		その他	
				一般財源	1,266	0		1,266	一般財源
事業の内容及び成果・今後の課題									
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校プログラミング教育講座業務委託（4～6年生）・・・1,188,110円 <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020プログラミング教育の必須化による事業継続 									
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察
	プログラミング講座の実施			回	13	13	100%	A	小学校におけるプログラミング教育によって、将来の情報化やグローバル化に必要とされるプログラミング的思考を育むことで、重要性が高まっている。
							#DIV/0!		
							#DIV/0!		
評価委員評価									
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B						
公平性	B								
有効性	B								
効率性	B								

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

事業通番 41364	基本目標	計画に記載なし	施策	第6次総合振興計画			款 9 教育費	課・係名	
	事業名	GIGAスクール構想事業・中学校管理費		予算額			項 3 中学校費	子育て支援課	
				当初予算額	増減額	予算現額	目 1 中学校管理費	子育て支援係	
		児童生徒一人一台端末の活用を図るGIGAスクール構想の実現に向けて、ICT環境の整備やスクールサポーターによる授業支援を行う。	事業費	2,280	91	2,371	事業費	2,234	
			財源内訳	国庫支出金	1,930	191	2,121	国庫支出金	2,121
				県支出金		0		県支出金	
				地方債		0		地方債	
				その他		0		その他	
				一般財源	350	▲ 100	250	一般財源	113
事業の内容及び成果・今後の課題									
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者用デジタル教科書の購入（国語、数学、英語、理科、社会、英語）・・・538,714円 フィルタリングソフト設定業務委託・・・204,160円 スクールサポーター配置業務委託・・・1,386,000円 ソフトウェア使用料（スカイメニュークラウド20ライセンス）・・・105,600円 <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT機器の更新及びオンライン環境の拡充 									
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み			単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察 国のGIGAスクール構想の実現に向けて教育ICT環境の充実を図り、多様な児童生徒のニーズや状況に応じた教育の充実を図る必要がある。
	ICT機器を活用した授業の実施			教科	2	2	100%	A	
	スクールサポーターの配置			人	1	1	100%		
							#DIV/0!		
評価委員評価									
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	1人1台の端末を使いこなせているならば、有効な事業と考える					
公平性	B								
有効性	B								
効率性	B								

令和4年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画				款 9 教育費		課・係名				
基本目標		計画に記載なし		施策		項 3 中学校費		子育て支援課				
						目 1 中学校管理費		子育て支援係				
事業通番	事業名	中学校教育振興費				予算額			決算額			
193201						当初予算額	増減額	予算現額				
		教授用消耗品・備品類の購入 図書館環境の充実 総合的な学習を継続実施する 学力検査の実施				事業費	4,116	0	4,116	事業費	3,718	
						財源内訳	国庫支出金		0	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金		0		県支出金	
							地方債		0		地方債	
							その他		0		その他	
							一般財源	4,116	0		4,116	一般財源
事業の内容及び成果・今後の課題												
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来塾講師謝金他・・・20,568円 ・生徒図書購入、学校活動用消耗品他・・・1,119,455円 ・学力検査（1～3年生：国語、社会、数学、理科、英語）・・・152,280円 ・タブレットPC（30台）リース料・・・1,823,880円 ・教材用備品購入費・・・239,250円 ・その他教育振興に係る経費・・・362,972円 <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童図書及び教材等の更新継続 												
指標	目的達成に向けた具体的な取り組み				単位	目標	実績	達成度	担当評価	評価の根拠・説明・考察		
	教材及び児童図書の整備				式	1	1	100%	A	学校図書館法の規定に基づき、児童生徒の図書活動や読書活動の充実のため、今後も継続して図書の充実を図る必要がある。		
	タブレットPCのリース				台	30	30	100%				
								#DIV/0!				
評価委員評価												
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B									
公平性	B											
有効性	B											
効率性	B											